

雨^{あめ}のあがったあさ、
はっぱの上^{うへ}に、きらき
らひかるすじがつい
ていました。これは、
かたつむりがあるいた
あとです。

かたつむりは、おな
かからぬるぬるしたも
のを^だ出しています。そ
のぬるぬるの上^{うへ}をす
べるようにして、まえ
へすすみます。

ぬるぬるには、から
だをまもるやくめも
あります。ざらざらし
た石^{いし}の上^{うへ}でも、からだ
にきずがつきにくいの
です。

ぬるぬるがかわく
と、ひかるすじになっ
てのこります。

(1)「すじ」のいみにあうものをひとつえらび、きごうに
○をつけましょう。

ア ほそくながいせん
イ まるいてん
ウ はっぱにあいたあな

(2) かたつむりは、どこからぬるぬるしたものを^だ出します
か。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア あたまのつの
イ せなかのから
ウ おなか

(3) ぬるぬるがかわくと、なにになつてのこりますか。ぶ
んしょうからかきぬきましょう。

(4) ぬるぬるは、かたつむりにとってどんなやくに^た立ち
ますか。かきましょう。

かきかたのヒント
二つ目と三つ目のだんらくを^みてみよう。
「〜こと。」でおわらせる。

かたつむりのあるいたあと

こたえ

1年 せつめい文 17ばん

なまえ

雨^{あめ}のあがったあさ、
はっぱの上^{うへ}に、きらき
らひかるすじがつい
ていました。これは、
かたつむりがあるいた
あとです。

かたつむりは、おな
かからぬるぬるしたも
のを^だ出しています。そ
のぬるぬるの上^{うへ}をす
べるようにして、まえ
へすすみます。

ぬるぬるには、から
だをまもるやくめも
あります。ざらざらし
た石^{いし}の上^{うへ}でも、からだ
にきずがつきにくいの
です。

ぬるぬるがかわく
と、ひかるすじになっ
てのこります。

(1)「すじ」のいみにあうものをひとつえらび、きごうに
○をつけましょう。

ア ほそくながいせん
イ まるいてん
ウ はっぱにあいたあな

(2) かたつむりは、どこからぬるぬるしたものを^だ出します
か。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア あたまのつ
イ せなかのから
ウ おなか

(3) ぬるぬるがかわくと、なにになってのこりますか。ぶ
んしょうからかきぬきましょう。

ひ
か
る

す
じ

(4) ぬるぬるは、かたつむりにとってどんなやくに^た立ち
ますか。かきましょう。

(れい) まえへすすむこと、からだをまもること。

かきかたのヒント
二つ目と三つ目のだんらくを^み見てみよう。
「〜こと。」でお知らせ。

解答・解説 かたつむりの あるいた あと（1年・せつめい文）

もん 問1 ア

はじめの だんらくの「きらきら ひかる すじ」は、はっぱの ^{うえ}上についた ほそく ながい せんのことです。

もん 問2 ウ

^{ふた}二つ目の ^めだんらくに「おなかから ^だぬるぬるした ものを 出しています」と かいて あります。

もん 問3 ひかる すじ

さいごの だんらくに「ひかる すじになってのこります」と かいて あります。

もん 問4 （れい）まえへ すすむ ことと、からだを まもる こと。

^{ふた}二つ目の ^めだんらくに「すべるようにして、まえへ すすみすみます」、^{みつ}三つ目の ^めだんらくに「からだを まもる やくめも あります」と かいて あります。どちらか ひとつ かけて いれば ○です。